

平成28年6月 資金需給見込み

平成28年6月3日
上田八木短資株式会社

(単位:億円)

	見込み	(前年実績)	(前年比)
銀行券要因	△ 8,700	△ 8,516	△ 184
財政等要因	27,800	45,312	△ 17,512
国債等	20,200	11,305	8,895
国庫短期証券等	△ 34,800	△ 8,659	△ 26,141
租税	△ 73,300	△ 88,900	15,600
社会保障	11,500	15,200	△ 3,700
交付金	39,900	39,900	0
公共事業	1,700	1,700	0
一般その他	9,200	8,100	1,100
財政融資	△ 8,000	△ 7,700	△ 300
外国為替資金	-	△ 900	900
保険	35,500	44,800	△ 9,300
特会その他	22,000	30,500	△ 8,500
資金過不足	19,100	36,796	△ 17,696

(日本銀行・財務省公表資料より。財政等要因の内訳は主要項目のみ。)

1. 銀行券

銀行券要因は8700億円の発行超と予想される。

(6月末銀行券発行残高前年比見込み+6.1%)

2. 財政等要因

財政等要因は、不足要因として3月決算法人の法人税の揚げがあるものの、余剰要因として、普通交付税の交付や年金定時払い、国債の大量償還等があることから、2兆7800億円の余剰となる見込み。

なお、国庫短期証券売買オペにより日銀が取得した国庫短期証券のうち、6月中に償還期日が到来する金額は約3兆7800億円である。

3. 資金過不足

この結果資金過不足は、1兆9100億円の余剰となる見通し。

4. 日銀調節残高

(平成28年5月31日現在 単位:億円)

	5月末残	うち6月中期日到来残高	期落ち比率
共通担保(本店)	0	0	-
共通担保(全店)	16,291	18,181	112%
C P 現先	0	0	-
成長基盤支援強化	56,350	2,318	4%
被災地金融機関支援	4,212	543	13%
貸出増加支援	244,220	29,803	12%
国債買現	0	0	-
資金供給調節合計	321,073	50,845	16%
売手入札	0	0	-
国債売現	0	0	-
資金吸収調節合計	0	0	-

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号 加入協会 日本証券業協会